俳諧を禁ずる物語

鳴鳳郷述

全

曹
600
172

門 イ 4
編 600
巻 172

宮内省圖書寮

子姪小僧達を標するの如く
[illegible]と云ふものは源氏の流なれば
[illegible]の元服なる如く
[illegible]
[illegible]の席なるものゝ斧藻をおとなる類を知識
の座まれとして祝をる大らひまさ世つゝぬ人乃
子ゆゑ[illegible]
[illegible]は於是世間の[illegible]
[illegible]

内閣文庫
壽山堂藏

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]の年賀[illegible]福[illegible]所[illegible]書[illegible]
[illegible]ける[illegible]ものする[illegible]
[illegible]神の[illegible]
[illegible]
[illegible]人[illegible]
黄屋[illegible]屋[illegible]屋[illegible]油[illegible]社[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]
世[illegible]
[illegible]
[illegible]

馬季長史記列傳注索隱曰滑謂乱也謔同也以言辯捷之人言非若是說是若非能乱異同也楚詞曰將突梯滑稽如脂如韋崔浩云滑音骨諧流酒器也出成章詞不定能歸若

滑稽之吐酒故揚雄酒賦云鴟夷滑稽腹大如壺盡酒人復其籍沽是也

又姚察云滑稽猶俳諧也滑讀如字稽音計也言諧諧滑利其知計疾出故云滑稽也

○楊慎曰滑稽者轉注之器也若漏危之類以人之言諧捷給之對不窮也

余按六書轉注亦以物不窮之義

今場屋之文楊慎轉注之器若漏危之類上戸之器のみなハ

滑稽之吐酒故揚雄酒賦云鴟夷滑稽腹大如壺盡酒人復其籍沽是也

又姚察云滑稽猶俳諧也滑讀如字稽音計也言諧諧滑利其知計疾出故云滑稽也

○楊慎曰滑稽者轉注之器也若漏危之類以人之言諧捷給之對不窮也

余按六書轉注亦以物不窮之義

今場屋之文楊慎轉注之器若漏危之類上戸之器のみなハ

人々のさいりの史記の説等を引きふたりて
物よ神
あるをも

さるにてはかくはいへども又曰迦毛の類うい
風雅の名ありて而迦毛ハ千風ハ世間
人々のものよりかくいふ知るけるものと止
みゝこのものあり迦毛のたひとい花あるを千風
ど迦毛の風雅ワつゝもなりてさんまふかけるも
はいかあるふかく風雅と云文字とハいうよりこれ
てもやむうし相永のよ和をいさこのよくく
而林雅信ふことあゝ宮ふ長谷下
とゝゝとも和をけふるゝるとのせるこの今和

而業市より引くかゝ中の王をけり知くけん
仕而の風神ふもいかくるゝ方ハ和よくく
けふ年人迦毛ハ世よするくけるしけさ
ふるとかゝ戸ゝふ和すきとのすきるた
みゝこてゝ皆こけ和とすきるゝ和ハ
ハけるとすきてゝ古きのよハ迦毛今ハ業
とをきゝとゝゝ（ともワ和ものゝ
きけけるゝ いけ和くけりけ世ずけをゝ
ゝゝ人ものゝきるゝ世ものゝ世ゝゝ

馬琴梅ま
新撰大筑
波集春之
部

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

さて此ものゝ[illegible]わりしるしみん

[illegible]きまりに和とてこれ無ハ如

[illegible]し今せく六義と名付へ

ど風雅頌のこゝろ[illegible]

すなわちこれ[illegible]和歌の[illegible]

[illegible]の席[illegible]

のこゝろ[illegible]

作風雅とこゝる関白[illegible]風大雅の数[illegible]

二南の作[illegible]

[illegible]

[illegible]て人性の動[illegible]

けん物[illegible]鎖[illegible]

[illegible]

[illegible]

風雅のみち和歌の流をとりたつ[illegible]
[illegible]ものこるかぎりの風雅をいだ
いて花ちりてのち月をもてあそぶ[illegible]
のこれるものの人のこころのなぐさめ也（いろは花は天
地とともに長し）とこの長と相ともなるの徳力をも花
[illegible]歌格は力のつよき歌もあるべし
無異なるをもて詩とも[illegible]異流行
のいきおひ盗跖[illegible]
[illegible]きとこそ[illegible]ちりぬるとも歌動せず十文字

[illegible]
仏の教は法華の[illegible]代のふるきは[illegible]
いつらんとしらず[illegible]
の[illegible]人は[illegible]
神のつたへ[illegible]恵の光今もあまねく[illegible]
九下の上[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

鳴嶋先生きいらいを論ず破せるの説者多くとも余もまた

俳諧論を閲するに其人を識るを最も一切仏法も其人を識ることを

俳諧の始末

又曰人の一疑癖

○癖

芙蓉道人

此書借受之例子而謄寫ス

寛政八年丙辰九月七日

瀧澤解書